

# さぎ 鷺ノ もり 森遺跡

現地説明会資料

開催日 平成26年3月1日(土)

午後1時30分～3時

和歌山市教育委員会

公益財団法人 和歌山市文化スポーツ振興財団  
埋蔵文化財センター



酒徳利に「紀州忍冬酒」の彫り込み



鷺ノ森遺跡は和歌山市の中央部、城北小学校の周囲に広がる弥生時代から江戸時代にかけての遺跡です。この発掘調査は小中一貫校建設計画に伴い平成24年10月から行っています。

調査では古墳時代から江戸時代にいたる7面の生活面の調査を行い、地表下1.0mの江戸時代では、旧中橋なかはしから続くと思われる道路筋とその両側に存在した建物跡を検出し、カマド跡や井戸など多数の生活痕跡がみつかりました。調査地は江戸時代後期の文献に記された「忍冬酒」にんどうしゅを作っていたとされる酒蔵が存在したことが知られており、これを裏付ける遺物として「紀州忍冬酒」と彫り込まれた酒徳利が数点出土しました。また、地表下2.5mの古墳時代においては前期段階の大溝や後期から飛鳥時代の掘立柱建物・土坑などを検出し、紀ノ川河口域における集落の一部を確認しました。このほか、出土した遺物では古墳時代の滑石製勾玉や耳環、戦国時代から江戸時代の土器・陶磁器がみつかりました。

## 調査の概要

1	遺跡名	鷺ノ森遺跡
2	所在地	和歌山市 鷺ノ森南ノ丁1
3	調査主体	和歌山市教育委員会
	調査指導	和歌山市教育委員会
	調査機関	公益財団法人 和歌山市文化スポーツ振興財団 埋蔵文化財センター
4	調査期間	平成24年10月～継続中
5	調査面積	約1500㎡